

志表

今回、日々和が毎日音読を10回している行為について、

改めて考えてみた。



今我はテオスタの人物にかきまわって
行っていた。



和が聴いている音はテオスタの内容で
先生を通じて音を聴いている。

ここに注目して行うこと!

「テオスタの音読」を考えると、今我はそれと考えていた。

★我は先生の真似をすること。 → 今我は「真似をすることでいい。」

音には何があるのか
音に内在する精神・考えを理解する

↓ この積み重ね

これを考えることが
基礎であること
要する。

自分の血・骨・肉となる。
自分の中に入り「本物」となる!

生井先生リ

Extra Homework 12.

発表の中にある受講生が言ったこと。

(男学生)

もししたら、生井先生は、

「テキストの内容を理解すること」は大事なこと!

テキストそのものを勉強して下さいと言うアリ。

毎日10回読み ということは、

人間形成の一貫としての役割があるのでは? というか。

↓
"毎日10回読み"

自分に厳しく読むことにより、

そこに本来あるものが関係してくる。

ある意味 そうでもする!

誰も見ていないので、サボろうとすればサボれる。

10回読んで"いいけども、読んで"と言う。

↓
先生には分かる。

英語に対する知識欲が読みたいのはなく、

"どうして10回読むのか" この根本を考えると何か見えてくる!

何かがあるはず!! 見せるものは人によって違う!

↑↑↑言えることは、

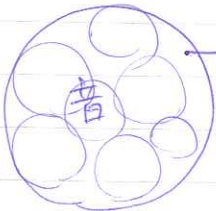
↑英語のテキストを暗記して下げるという学習ではないこと

これ↑↑↑は確か！

● 同じテキストでも、違う人が言葉がと全く違う。

↑これは 生井先生の英語を学んでいる。

生井先生の英語とは、

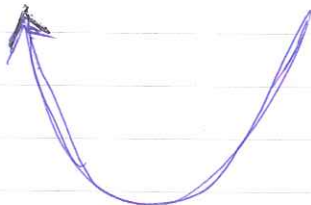


音には構成要素がある、



この構成要素は何か！

自分の頭の中で整理する。



生井先生の音は、どうして
そのように音になるのか！

自分なりに口で学んでいく。

将来、自分の英語を言おう時のいい参考にする！

今前にやった=教科書をよく読むこと。

その時私も今の私が実感として自分の中に入ると思い切。

特に思ったこと。

音は音であって、音ではない

以前まとめにことがあり、大事なことを思っていたのはいいのに、
初めて言葉で言えなくなりました。

大事なことが書いてあるのに、どうして今まで、
言えなかったのかと気づきました。

暗闇に入ってしまったとき、方向性が分からなくなってしまうとき、

基本は2つある。

① 理性的インテリジェンス (PI)

もっとわかりやすく
わかりやすく書いてもらう。

② 音は音であって音ではない。

先生が受講生に一番伝えた
内容がよく書かれている。

暗闇にあるインテリジェンスは
同じもの!

手T=初めに戻って、教材①、②を丁寧に熟読すると、

その時に理解できたらT=2と。

その時に、腹落ちしたからT=2と。



今T=2なら理解できるかもしれない。

道に迷ったなら、この2つに戻ってくれば！

手T=新T=2に見る必要がある！